

みやがわ そういちろう

宮川 宗一郎

自由民主党 福岡県議会議員

県政レポート

Vol.4 2024年5月発行

人とつながり、見識を広めた1年間。 これからの発展にもつながる6年度 予算編成にも取り組み

昨年4月9日、多くの皆様の応援をいただき初当選を果たしてから早くも1年が経過しました。さまざまな方とご縁がありましたことにも感謝し、これからも地域の皆様のお声を聞き、県政に反映できるように尽力してまいります。

さて、3月22日に2月定例会が無事終了しました。私からは予算に関して「災害・減災」「災害時ボランティア」「金融リテラシー教育」の3つの質問をさせていただきました。

福岡県は国の総合経済対策を最大限に活用し、12月予算と2月補正予算を掛け合わせた一体的な予算編成に基づく、切れ目のない対策を進めます。行政ともしっかりと連携して、県民の皆様に寄り添った予算編成、県政となるように尽力してまいります。



令和6年度当初予算編成の考え方

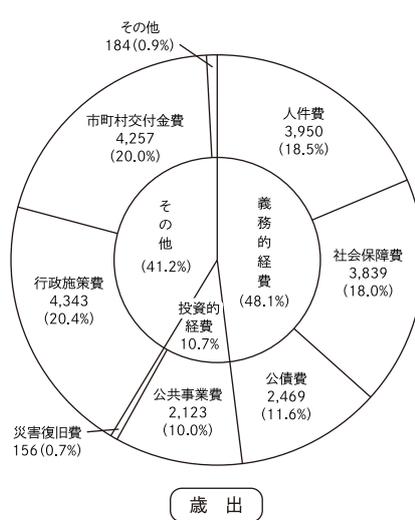
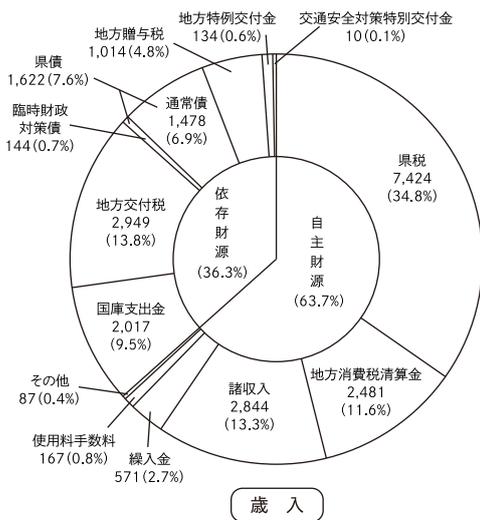
1000億円の人づくり

県内GDP20兆円への挑戦

未来を守るサステナブル社会への改新

未来を拓るイノベーションの創出

安全・安心で活力ある社会づくり



県民の皆様の命と健康、生活を第一に保護し、福岡県の未来を見据え、成長・発展を加速させるために、「1000億円の人づくり」、「県内GDP20兆円への挑戦」、「安全・安心で活力ある社会づくり」の3つの柱に基づく施策を力強く実行します。

この方針に基づき、特に以下の点に注力します。

✓少子化による人口減少やそれに伴う人手不足、物価と賃金の好循環の実現など、先送りできない社会課題に立ち向かう。

また、災害、感染症、地球温暖化などのリスクから未来を守るサステナブル社会への改新

✓デジタルや先端技術、そして何より「人」が生み出すイノベーションの力を活用し、労働生産性の向上や新たな価値の創出を図り、福岡県を成長・発展をさせる、未来を拓るイノベーションの創出

これらの2つ視点をもとに、令和6年度当初予算と、国の経済対策を最大限活用した令和5年度2月補正予算、12月補正予算を統合した16か月予算で、切れ目のない対策を展開します。

高齢者就業支援の提言が予算化

令和5年9月の定例会にて行った提言が予算化しました。「生涯現役チャレンジセンターの周知の強化」すべきという提言です。

それに伴い、働きたい高齢者への支援を強化する予算として、1,785万7千円が令和6年度予算に計上。生涯現役チャレンジセンターのWebサイトを改修し、高齢者の求職活動・社会参加をインターネット上で支援するために使われます。

圧倒的行動力で！
聞く！
変える！
守る！

みやがわ そういちろう

宮川 宗一郎 後援会

〒814-0123 福岡市城南区长尾5丁目31-8 有吉ビル202号

TEL:092-836-9738 FAX:092-836-9737

公式サイト <https://miyagawa-soichiro.com>

LINE公式アカウント



公式Instagram



公式サイト



宮川宗一郎後援会では、随時入会のお申し込みを受け付けております。詳しくは公式サイトへ！

災害への備えから高校教育まで 将来に目を向けた提言を行いました。

令和6年2月定例会 一般質問

Q1 災害・減災について

海域活断層調査とヘリコプター運用の有効性

Q2 広域災害時の

復旧・復興ボランティアについて

円滑かつ迅速な広域ボランティア活動の実現

Q3 県立高校における

金融リテラシー教育について

自立する力を育み、人材を育成



Q1

平時から災害に備える

防災関係機関等と連携したヘリコプターの有効活用を!

過去30年に起こった震度6弱以上の地震を振り返ると、平成17年福岡県西方沖地震は発生確率3%未満、平成28年の熊本地震は1%未満と言われながらも起こりました。また能登半島地震は、地震の少ない石川県であるにも関わらず最大震度7の大きな地震となりました。これらの経験からも、確率にかかわらずとも万が一に備えよう、という世の中の意識は年々高まってきています。

一方、私の所属会派が海域活断層調査の必要性に関する代表質問を行いました。専門組織に速やかに調査していただき、県民の安全・安心に繋げてほしいと考えます。

能登半島地震においては、その地形の特徴からもヘリコプターのニーズが大変高いものとなりました。私自身、議員になる前は自衛隊のヘリコプターの操縦士をしていました。自衛隊車両などが入れない山間部や離島への災害派遣にヘリコプターで従事した経験もあり、その有効性を実感しています。災害時の派遣に有効なヘリコプターの活用について県に問いました。

問：災害時におけるヘリコプターの円滑な運用を実現するために、市町村および自衛隊・消防等、広域的に運用を実施している防災関係機関等との連携強化に向けた取り組みは。

— 県内の全ての市町村及び消防の一部事務組合が締結している「福岡県消防相互応援協定」と、自衛隊・消防等の防災関係機関のヘリコプターに係る「県災害時受援計画」を着実に運用していく。毎年、出水期前には市町村長向け危機管理研修や、防災関係機関トップとの意見交換会を実施。大規模災害への対応を想定した「県総合防災訓練」で、ヘリコプターを活用した情報伝達訓練や倒壊家屋からの救助訓練などを行っている。今後も、これらの取り組みを通じて市町村や防災関係機関との連携を強化していく。

Q2 広域災害時の復旧・復興ボランティア 支援を進め、より円滑かつ迅速な活動ができるように

近年、豪雨・震災等による災害は激甚化し、複数の市町村や県境をまたいで広域に被害をもたらすケースも多く発生しています。復旧・復興活動におけるボランティアの役割も大きくなってきていますが、市町村および社会福祉協議会、NPOなど、団体間の情報共有や効果的な連携には課題も残ります。ボランティアと被災者間でトラブルに至ることもしばしばです。また、メディア報道の注目度の偏りによって被災地域によってはボランティア人員の偏在が生じる場合もあり、広域での調整が求められています。

令和6年度予算においても「多様な主体の協働による被災者支援体制」強化の予算が組み込まれており、議会では本事業が想定する災害ボランティアに関わる県の役割について質問。県がボランティアの調整・訓練に取り組み、広域災害時の円滑かつ迅速なボランティア活動の支援が実現することを要望しました。

問：県・県社会福祉協議会・災害ボランティア団体ネットワーク「Fネット」が連携協定を締結。「多様な主体の協働による被災者支援体制機能」の強化を進めた背景は。

— 広域災害における県内外からの災害ボランティアに対して、これまで連携がうまくいかず迅速な活動に繋げることができなかった。

これに対し、各市町村で災害ボランティア活動の運営への支援と、広域災害時のボランティア活動の支援体制の強化に取り組んでいく。県・社協・Fネットの役割分担が不明確で、効果的な調整ができないことも課題だった。

Q3 県立高校で金融リテラシー教育推進 自立する力を育み、国際金融都市福岡を目指して

令和4年4月に高等学校の教育内容の基準を定める学習指導要領が改訂され、金融教育に関する内容の充実が図られました。これを受けた新たな重点施策として、県立高校の金融リテラシー教育推進費が令和6年度当初予算に加えられました。

金融リテラシーとは、より良い生活を送るために、お金に関する必要な知識や判断力を身につけることです。就職・結婚・子育てといったライフイベントを含む人生のさまざまな場面で、金融・経済に関する詳細な情報や知識に基づいた判断力を要する機会が増えています。適切な判断力を身につける上で、金融リテラシーを育むことは大切です。また国際金融都市を目指す福岡県としても、金融リテラシーのある人材の育成は欠かせません。この事業に期待し、県立高校に通う子供たちにとって有益な教育となしてほしいと考えています。

問：本事業推進の思い。実生活に根ざし、より身近な学習として金融リテラシーを身につけさせるためには。

— 高校教育の期間は、社会人として自立するための基礎能力を養う時期である。金融・経済が自らの生活に深く関係することを理解し、情報を集め活用する技能を身に付けることが重要。そのため、外部専門人材を全県立高校へ派遣する全国でも先進的な事業に予算を要求中。生涯を見通して経済を管理するなど、生徒が自立して生活していくための力を育むとともに、国際金融都市福岡への貢献できる人材の育成を目指して取り組む。

県政活動・地域イベント

- 1月10日 城南区新春のつどい
- 1月19日 九州住宅産業協会 新年賀詞交歓会
- 1月25日 スポーツ立県調査特別委員会 管内視察
- 1月31日 九州・沖縄防衛議員連盟 連絡協議会 総会
- 2月11日 自衛隊福岡地方協力本部
創立17周年記念祝賀会
- 2月16日 スポーツ立県調査特別委員会管内視察
- 2月23日 九州防衛大学校同窓会 懇親会
- 2月25日 長尾校区防災フェスタ
城南校区 ウィンタースポーツフェスティバル
つつみ地区ソフトバレーボール大会
- 3月3日 長尾校区 ファミリーバドミントン大会
南片江校区 ソフトバレーボール大会
- 3月9日 オイスカ海外研修生研修終了式
- 3月10日 福岡県偕行会懇談会
- 3月16日 自民党青年部・青年局、女性局合同全国大会
- 3月29日 福岡県神道政治議員連盟情報交換会
城南署表敬訪問
- 3月31日 ニューレジリエンスフォーラム福岡地域大会
- 4月7日 隊友会春日支部発会式
城南区壮年ソフトボール大会
- 4月9日 福岡県立城南高等学校入学式
- 4月14日 陸上自衛隊幹部候補生学校
開校70周年記念行事



お気をつけください!

城南区でも二セ電話詐欺が頻発しています。
県では、二セ電話詐欺対策動画を制作し公開しております!



陸上自衛隊での救助経験の強みを生かし、 安心安全な生活に力を注ぎます。

名前 宮川 宗一郎 (34歳)
 家族構成 妻 長女 長男
 趣味 バレーボール、筋力トレーニング、ツーリング、読書、カラオケ
 座右の銘 感謝

- 平成元年12月29日生 福岡市出身 ●笹丘小学校卒業
- 泰星中学高等学校(現・上智福岡中学高等学校)卒業
- 防衛大学校理工学部(建築環境工学科)卒業
- 陸上自衛隊(ヘリコプター操縦士 平成25～令和4年)
平成28年4～5月 熊本地震における災害派遣
平成29年7～8月 北部九州豪雨における災害派遣
- 福岡県議会議員(1期目) ●警察委員会 副委員長
- 防衛議員連盟 事務局長 ●スポーツ立県調査特別委員会 委員
- 福岡県隊友会 相談役(陸上自衛隊) ●春日基地協賛会 顧問(航空自衛隊)

